

**国土交通省「国土交通分野における生物多様性保全の取組普及関連業務」
国土交通分野における地域の生物多様性保全活動に関するアンケートの
集計結果について（概要）**

国土交通省では、これまでも多自然川づくりや干潟の保全、都市公園における樹林地や水辺を含む多様な自然的環境の保全・再生等、生物の生息・生育空間の確保に配慮した整備や、地域住民や利用者にとっての自然とのふれあいの場の創出に配慮した取組等が進められてきたところです。そのようななか、昨年に名古屋で生物多様性条約第 10 回締約国会議が開催され、ポスト 2010 年目標（愛知目標）として、自然と共生する社会の実現に向け、世界をあげて取組むことが合意されました。また、地域の多様な主体が連携して行う生物多様性保全活動の促進を目的とした「地域における多様な主体の連携による生物の多様性の保全のための活動の促進等に関する法律」（生物多様性地域連携促進法）が昨年 10 月に施行され、自然と共生する社会を実現するための地域の取組が求められています。

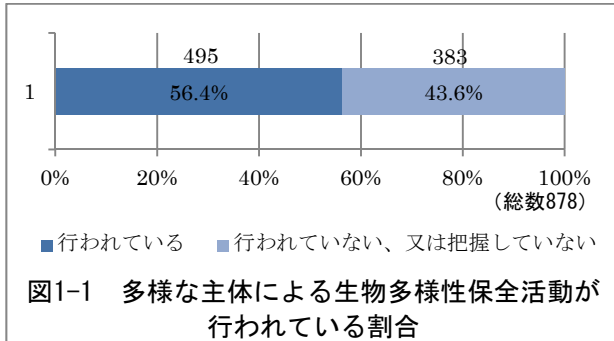
こうした背景をふまえ、国土交通省では、国土交通分野に関する地域の生物多様性保全活動について実態を把握し、こうした活動の促進を図ることを目的として、アンケート調査を行いました。対象は、社会資本管理者である地方公共団体・国土交通省地方事務所等 1803 団体と、市民団体 280 団体としました。その集計結果をお知らせします。

- 【 調査実施者 】 国土交通省 総合政策局 環境政策課
- 【 調査実施日 】 平成 23 年 9 月 26 日～平成 23 年 10 月 17 日
- 【 調査対象者 】 社会資本管理者（地方公共団体・国土交通省の各事務所等）1803 団体
生物多様性保全活動を行っていると推測される市民団体 280 団体
（（独）環境再生保全機構「環境 NPO 総覧」から抽出）
- 【 調 査 方 法 】 郵送法による自記式調査票を用いたアンケート調査
- 【 回 答 者 数 】 社会資本管理者 878 団体（回答率 48.7%）
市民団体 86 団体（回答率 30.7%）

1. 社会資本管理者に対するアンケートの結果

■問1 「社会資本の場」で行われている多様な主体による生物多様性保全活動の有無について

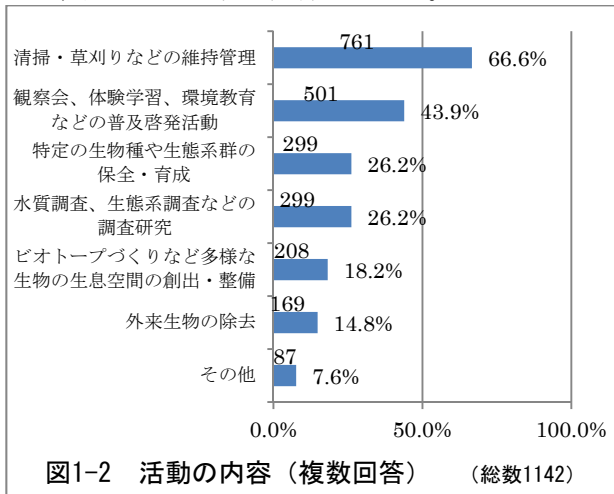
事務所内、団体内における「社会資本の場」で、多様な主体による生物多様性保全活動がひとつでも「行われている」と回答した割合（※）は、約56%であった（図1-1）。



※「以前は行われていたが、今は行われていない」と回答した団体は、その他の「社会資本の場」においては活動が「行われている」と回答していたため「行われている」に含まれている。

■問2 多様な主体による生物多様性保全活動の実態について

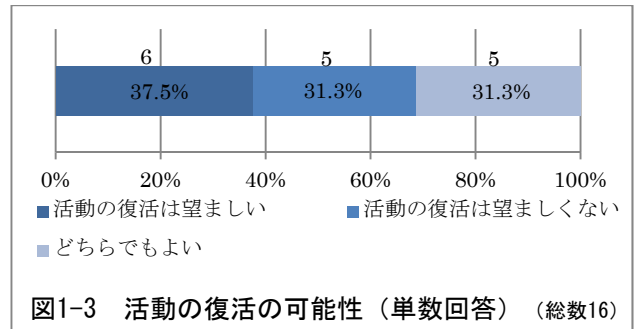
問1で「行われている」と回答した場合、具体的な活動事例について記入をお願いしたところ、1142の事例の記入があった。各事例の活動の内容については、図1-2のような割合であった。



■問3 多様な主体による生物多様性保全活動が停滞している場合について

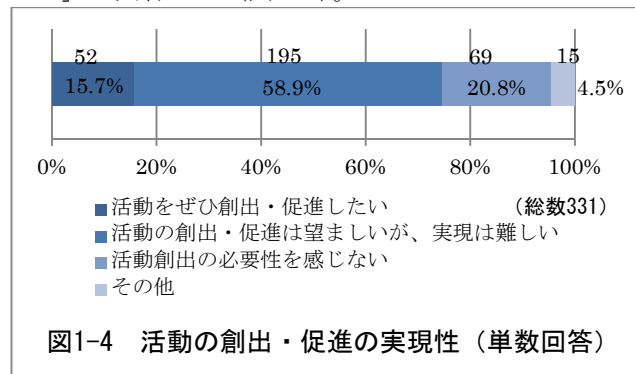
問1で「以前は行われていたが、今は行われていない」と回答した場合、具体的な事例について記入をお願いしたところ、16事例の記入があった。活動の復活の可能性については、約38%が「活動の復活

は望ましい」と回答した（図1-3）。



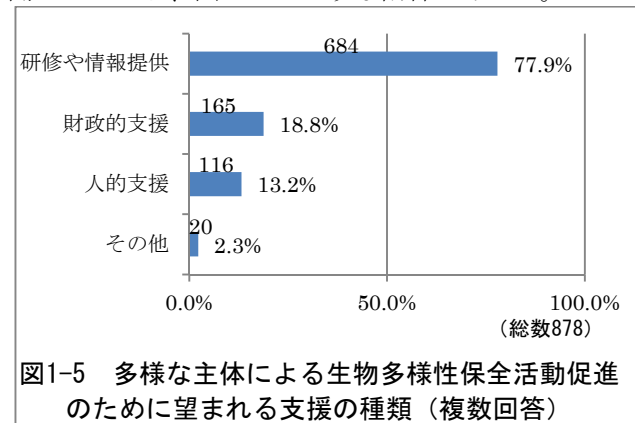
■問4 「社会資本の場」での多様な主体による生物多様性保全活動の創出・促進のための課題について

問1で「行われていない、又は把握していない」と回答した中で、問4にも回答したのは331団体であった。活動の創出・促進の実現性については、約59%が「活動の創出・促進は望ましいが、実現は難しい」と回答した（図1-4）。



■問5 多様な主体による生物多様性保全活動の促進のための自治体等に対する支援のありかたについて

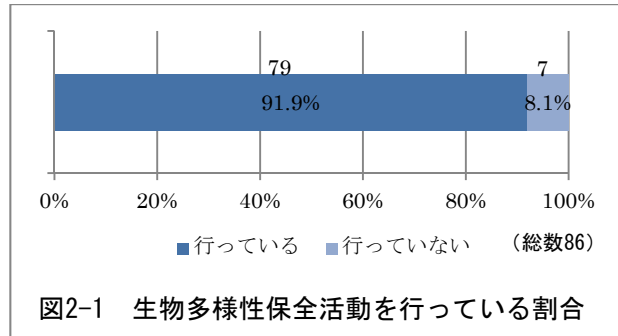
多様な主体による生物多様性保全活動の促進のために、どのような支援があると望ましいかについて聞いたところ、図1-5のような割合であった。



2. 市民団体に対するアンケートの結果

■問1 「社会資本の場」で行われている生物多様性保全活動の有無について

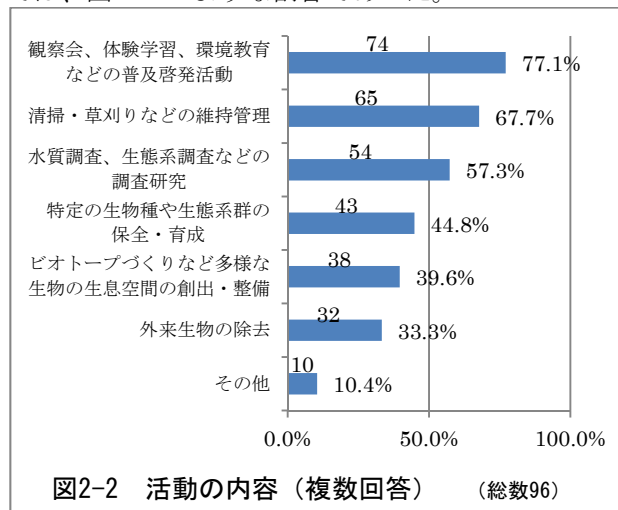
生物多様性保全活動をひとつでも「行っている」と回答した割合（※）は、図2-1のようになった。



※「以前は行っていたが今は行っていない」と回答した団体は、その他の「社会資本の場」においては活動が「行われている」と回答していたため「行われている」に含まれている。

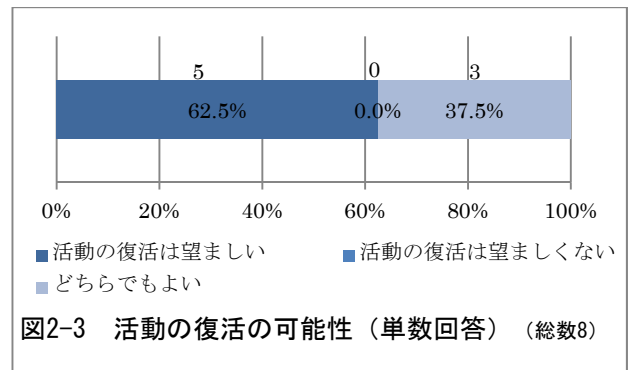
■問2 「社会資本の場」で行われている生物多様性保全活動の実態について

問1で「行っている」と回答した場合、具体的な活動事例について記入をお願いしたところ、96の活動事例の記入があった。各事例の活動の内容については、図2-2のような割合であった。



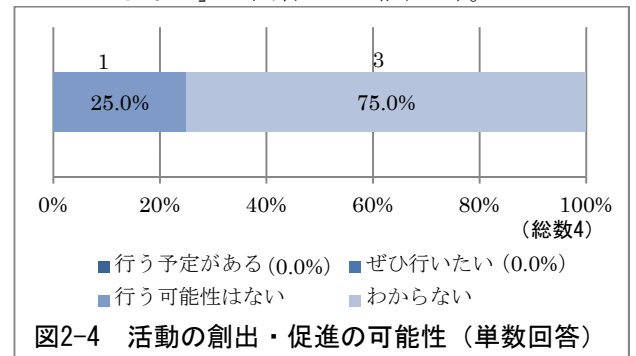
■問3 「社会資本の場」で行われている生物多様性保全活動が停滞している場合について

問1で「以前は行っていたが今は行っていない」と回答した場合、具体的な事例について記入をお願いしたところ、8事例の記入があった。活動の復活の可能性については、約63%が「活動の復活は望ましい」と回答した（図2-3）。



■問4 「社会資本の場」での生物多様性保全活動の創出・促進のための課題について

問1で「行っていない」とした回答は、4団体であった。活動の創出・促進の可能性については、75%が「わからない」と回答した（図2-4）。



■問5 生物多様性保全活動の促進のための自治体等に対する支援のありかたについて

多様な主体による生物多様性保全活動の促進のために、どのような支援があると望ましいかについて聞いたところ、図2-5のような割合であった。

